

# 令和6年能登半島地震による内灘町の橋梁被害状況調査報告（速報版）

2024.1.8 金沢工業大学 田中泰司

今回の調査では石川県内灘町にある橋梁の被害調査を行った。調査対象橋梁は、才田大橋、湖南大橋、内灘大橋の3橋である。

【調査日】2024年1月8日（木）

【行程】金沢市内—才田大橋—湖南大橋—内灘大橋—金沢市内

## 【調査結果の概要】

### [才田大橋]

- ・位置：36.653922, 136.690966
- ・通行状況：通行不可
- ・損傷の有無：河北潟側の橋台でジョイントが約50cm目開き。鋼製支承の破壊、鋼桁の座屈を確認。それ以外の径間でもジョイントの目開きが発生。

### [湖南大橋]

- ・位置：36.656572, 136.702338
- ・通行状況：通行不可
- ・損傷の有無：河北潟側の橋台でジョイントが約15cm目開き。橋台のパラペットが破損しているが、縦壁や支承は健全であり、橋の耐荷力は保たれている。

### [内灘大橋]

- ・位置：36.659895, 136.650509
- ・通行状況：通行可
- ・損傷の有無：目立った損傷は見られない。橋台のゴム沓が若干変形しているが、季節変化によるものか、地震の影響なのか判別がつかない。

【才田大橋 の被害状況】



写真1 西側橋台付近の状況（目立った損傷なし）



写真2 西側橋台の支承部（橋桁は右側に動いており、ジョイントがせっている。橋台側が可動軸。可動範囲いっぱいまで移動していることがわかる。）



写真3 橋脚上のジョイント部（開いているジョイントが複数確認された。地形は全体として伸びていると考えられる。）



写真4 東側（河北潟側）の橋台部のジョイント（約 50cm 開いている。原因は桁が支承

から外れたため.)



写真5 西側橋台の支承部の損傷状況（鋼桁が右側に移動し，支承が破壊している.）



写真6 西側橋台の支承部の損傷状況（未補強部で荷重を支える状態となったため，ウェブで座屈が生じている）



写真7 西側橋台の背面の状況（約 1.4m の段差が生じている．元々あった裏込土がどこにいったのかが見当たらない）

【湖南大橋の被害状況】



写真8 北側（河北潟側）橋台付近の状況



写真9 ジョイントの状況（目開きは15cm程度）



写真10 北側（河北潟側）橋台の支承付近の状況（縦壁，支承，上部工に損傷はない，パラペットの根本にひび割れが発生しており，右側に傾いている。）



写真11 パラペットの根本の拡大写真（ひび割れが発生している。）

【内灘大橋】



写真12 橋梁全景（左岸側から撮影。目立った被害は確認されない。）



写真13 左岸側橋台の支承部（やや右側に傾いている）



**【その他】**

- ・砂丘の上側の道路ではほとんど被害を確認できなかったのに対して、砂丘の付け根の部分では液状化の被害が多く見られた。このような傾向は、新潟市西区の砂丘地帯で発生した液状化被害と類似している。